

●加治川の生態系保全に向けた外来魚（スモールマウスバス）

駆除イベント開催の提案

Q.

新発田市を代表する河川である加治川において、近年、特定外来生物であるスモールマウスバスの繁殖が著しく進んでいるように見受けられます。発生源については断定できませんが、内之倉ダムから流下してきた可能性も考えられます。

スモールマウスバスの増加は、在来魚や水生生物への影響が懸念されており、加治川本来の豊かな生態系の維持という観点からも、早急な対策が必要ではないかと考えます。

そこで、外来魚駆除を目的とした釣り大会や市民参加型の駆除イベントなどを企画・開催していただけないでしょうか。地域住民や釣り愛好家が楽しみながら環境保全に参加できる機会となり、外来種問題への理解促進にもつながると思います。

加治川の豊かな自然環境と本来あるべき生態系を守り、未来を担う子どもたちへと引き継いでいくためにも、ぜひご検討いただければ幸いです。

よろしくお願いいたします。

（令和8年6月受付）

A.

加治川の生態系保全について貴重な御提案をいただき、ありがとうございます。

御指摘のとおり、特定外来生物であるスモールマウスバスは、在来魚や水生生物への影響が懸念されており、地域の豊かな生態系を保全していく上で重要な課題の一つであると認識しております。加治川におけるスモールマウスバスの生息状況について、加治川漁業協同組合に確認したところ、少なくとも7年以上前から生息していることを把握しております。

また、市民参加型の駆除イベント等を通じて外来種問題への理解促進を図るという御提案につきましても、大変参考になるものと考えております。

一方で、加治川は県が管理する河川であることから、河川区域内における外来魚駆除イベントの実施や河川利用に関する調整につきましては、県において主体的に判断・対応される事項となります。

このため、御提案の内容につきましては、市から県へ情報提供するとともに、市民参加型の駆除イベントの開催について、市民の皆様や関係機関・団体と連携した取組の可能性について県に相談してまいります。

（令和8年6月29日回答）

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。